

新しい日常の 新しい観光 (8)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、観光ツアーの中止が相次ぎ、催行会社の売上げが大幅に減少し、受け入れ地域も大きな痛手を被った。こうしたピンチを乗り越えるために「オンラインツアー」という新しい旅行形態が生まれてきた。これは、カメラを持ったツアースタッフが、観光地の様子をライブ（生）で配信し、参加者は自宅から楽しむリモート形式のツアーだ。

過去に撮影した動画ではなく、ウェブ会議のようにリアルタイムで現地スタッフと参加者、参加者同士がコミュニケーションしながら、その瞬間の観光地の景色などを観賞する。非接触・非対面で感染リスクがないため、各地で取り組みが広まりつつある。

参加者側から見ると、一般的な観光ツアーと比べて、移動に時間や費用がかからないのがメリットだ。既存の観光ツアーの代わりになるだけではない。実際に行くのが大変な遠隔地のツアーでも気軽に体験できるほか、健康上の問題から移動や外出が難しい方々も参加できる。

オンラインツアーに取り組む企業

いただきますカンパニー
◦ 農家と組んだ農場や牧場のツアーが人気
東京トラベルパートナーズ
◦ 介護事業者向けに展開
あうたび
◦ 全国の自治体・観光協会と連携して提供
H I S
◦ 国内外の多様なツアー。鉄道ファン向けなどニッチなものも

オンラインで新たな魅力

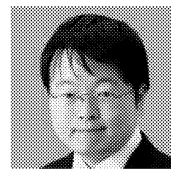
また、観光客の安全性を確保することが難しい危険な場所や、厳しい衛生管理が求められる場所なども行程に組み込むことができる。こうしたオンラインツアーでしかできない体験を提供するツアーも生まれつつある。

受け入れ側の負担が軽いのも特徴だ。現地にはツアースタッフだけが居ればよく、観光客を受け入れる場所の確保が不要となる。

取り組みが進むにつれて、EC（電子商取引）との相性がよいこともわかってきた。ツアー参加者に、地域の特産品の魅力を直接語りかけ、オンライン上で商品の販売ができるからだ。

例えば、農業見学を手掛けるいただきますカンパニー（北海道帯広市）のオンライン農場ツアーでは、農家が画面を通じて農作物にかける思いや食べ方を伝えるとともに、農作物を参加者に届けている。ジャガイモを受け取った参加者から「スーパーで買うものよりもおいしく感じた」といった感想があり、単なるオンラインツアーや単なるネット通販とも違う新たな魅力を生み出している。

米国でオンラインツアーとECの機能を兼ね備えたプラットフォーム「Amazon Explore」の試験提供が始まるなど、海外でもこうした動きが活発になっている。コロナ後もオンラインツアーの進化が続きそうだ。



かたひら・はるき 大学在学時に位置情報ビッグデータを活用し観光客の周遊状況について研究。入社後は訪日外国人や国内旅行に関する調査研究のほか、自治体の観光計画策定支援も。